



「基本的な生活習慣」の大切さ  
校長 小林 和雄

2月を迎え、今年度も残り2か月となりました。  
暦の上ではあと数日で立春を迎えますが、まだまだ寒さの厳しい日が続きます。  
朝の寒さの中でも、子どもたちは元気に登校し、学習や運動に“本気”で取り組む姿が見られます。また、朝、校門に響く気持ちのよいあいさつや、友達と協力して活動する姿から、日々の成長を感じることができます。

2月は、一年間の学校生活を振り返り、基礎・基本の大切さ、とりわけ“基本的な生活習慣”の大切さを実感する月です。“基本的な生活習慣”とは、「あいさつ」「時間を守ること」「身の回りを整えること」「健康に気を配ること」「学習や運動に取り組む姿勢」など、日々繰り返す小さな行動のことです。これらは一見当たり前のことのようにですが、毎日きちんと続けることで、心と体の成長に大きな力を与えます。

埼玉県では、子どもが社会の一員として守らなければならないいきまりや行動の仕方を身に付け、時と場に応じて自ら行動し、責任のある態度がとれるようにすることを目指して、『規律ある態度』達成目標を掲げ、県内の小・中学校で取り組んでいます。その中に、「あいさつ」の目標も設定されています。12月の子どもたちの自己評価では、どの学年も90%を大きく上回る高い達成率（「よくできる」「だいたいできる」と回答した割合）でした。「あいさつ」はとても短い言葉ですが、相手の気持ちを一瞬で幸せにできる“魔法の言葉”でもあります。これからも心を込めたあいさつができる子どもたちであってほしいと思います。一方、本校の子どもたちにとって、「整理・整頓」は課題となっています。

“基本的な生活習慣”の大切さを示すよい例として、青山学院大学駅伝部の選手たちの話があります。駅伝で日本一を目指す彼らは、練習だけでなく、食事の管理や睡眠、体調の自己管理、靴や道具の手入れなど、日常生活の基本を徹底しています。たとえ小さなことでも、毎日積み重ねることで体力や技術が着実に向上し、チーム全体の力となって駅伝の舞台で結果を出してきました。“基本的な生活習慣”の定着が、大きな成果につながることを彼らの姿から学ぶことができます。

4月に新しい学年として1学期を迎えるにあたり、子どもたちには、新たな学年で大きく花開くよう、この2月に“基本的な生活習慣”をしっかりと身に付けておいてほしいと思います。また、子どもたちが自分自身の成長を振り返り、“基本的な生活習慣”の大切さをあらためて実感できるよう、全教職員が一丸となって子どもたちを支援してまいります。保護者・地域の皆様には、引き続き本校の教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

学校教育目標 あきらめず挑戦できる子

勉強する子・やさしい子・元気な子

児童数 1年24名 2年32名 3年29名 4年23名  
5年31名 6年33名 ひた 8名 合計180名

令和8年1月30日 発行

〒342-0022  
吉川市加藤641番地  
TEL 048-982-2330  
FAX 048-984-5271



楽しかった芸術鑑賞会

今年度の芸術鑑賞会は、埼玉県警察音楽隊の方々をお招きしました。総勢43名の吹奏楽団とカラーガード隊の皆さんの演奏はどれも子供たちになじみのある曲であり、迫力ある生演奏にどの子もキラキラした表情で聴き入っていました。



教室に獅子がやってきました

用務員の山崎さんが始業式で縁起の良い獅子頭を見せてくれました。その後、低学年とひまわり学級の教室に獅子が訪れ、子供たちの頭を噛んでくれました。今年も良いことがありそうですね。



いざというときの判断を！

1月15日に不審者対応の避難訓練を行いました。校内に子供たちに危害を加える恐れのある者が侵入した場合を想定した訓練です。合図の校内放送、近くの教室に入り施設、机やイスを使ったバリケードの作り方、教員の動きなどを確認しました。いざというときに自分自身を守る判断をするために日頃からの備えは必要ですね。



おねがい

今年度中に、転居などの理由で転出する予定がある場合は、できるだけ早く学校にお知らせください。来年度の学級数決定のため、転出先の学校にも情報が必要になります。

PTAからのお知らせ

PTAへの加入は任意です。在学中は自動継続となりますが、随時退会も受け付けています。退会を希望される方は、教頭を通じてPTA本部にお知らせください。

2月の行事予定

日	曜	行 事 予 定
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	感謝の会
5	木	スクールカウンセラー来校日
6	金	委員会活動
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	学校運営協議会③（傍聴を希望される方は教頭までご連絡ください。） お話ぼけっと
11	水	建国記念の日
12	木	保幼小交流会（ワカマツ幼稚園年長さん来校）
13	金	クラブ活動（最終）
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	なわとび大会
18	水	6年生東中学校区授業体験・交流会
19	木	5時間授業 授業参観・懇談会（1年・3年・5年・ひ・た）
20	金	5時間授業 授業参観・懇談会（2年・4年・6年）
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	
25	水	
26	木	遊ぼうタイム
27	金	委員会活動（最終） さわやか相談日
28	土	

3月の主な予定

18日（水）給食終了日  
19日（木）卒業証書授与式（1～4年臨時休業）  
23日（月）3時間授業 24日（火）修了式



	項目	自己 評価	保護 者評 価	評価の説明（自己評価○ 保護者評価☆）	学校運営協議会の意見・ 学校の考え※
1	学校は、学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	3.5	3.6	○歴史や伝統を大切にしつつ、現在の学校教育を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、多様なニーズを反映しながら教育活動を展開している。 ☆学年閉鎖の時、オンラインで授業の対応をしてくれた。	・前年度から校内の掲示物の見直しが進み、とてもよかったと感じる。掲示物や展示物が整理され、明るく清潔感のある環境になったことで子供たちも落ち着いて過ごしやすいものではないか。また、学校全体として整理整頓が進み、校内がすっきりと整った点も評価できる。整理整頓は見通しを良くし、つまずきや転倒などの事故を防ぐことにもつながる痛め、今後も継続して取り組んでほしい。
2	教職員はPDCAサイクルのもと教科指導や学級経営・校務分掌にあっている。	3.2	3.5	○学校全体、また個人々として日々の教育活動を振り返り、成果や課題を良い形で次につなげようとする取り組みが日常的に行われている。 ☆例えばテストで間違えたところは青丸で直してあるので、理解するまで教えてくれていると思っている。	・保護者や地域との連携が以前より希薄になっていると感じる。子供たちの学びや安心のためにも無理のない範囲から保護者や地域が関われる機会を少しずつ増やしていくことを望む。そうした関わりが広がることで、学校を中心とした地域のつながりが深まり、結果として地域の活性化にもつながる。
3	学校は事故やトラブルに対してのマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.6	3.5	○世間の度重なる教職員の不祥事を、我が校では発生を阻止するため、迅速に対応している。 ☆学校でのけが等は明らかに軽度である場合を除き、迅速に保護者に連絡をしてほしい。 ☆マニュアルの作成は難しいと思うが、子供の問題に対してかなり細かく聞き取りをしたほうがいい。子供の行動の理由（動機）をよく聞くことが必要。	※地域との連携の整理、見直しを図る。
4	学校は清掃活動や掲示物等に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	3.3	3.7	○昨年度より学校のいたところが大変きれいになっている。教材室など今までそのままだったところまで整理された。 ☆廊下や教室の床は乾拭きだけだと聞くと、その後の教員の負担は増えていないのか心配。 ☆毎回、きれいだなと思っている。	・授業や家庭学習におけるICT活用の見直しを。書くことを中心とした学習学習の基本に立ち返り、落ち着いて文字に向き合う時間を十分に確保することが学力の安定と向上につながると考える。
5	学校は小中の連携を図り、小中一貫教育を推進している。	3.2	3.3	○合同研修会・相互授業参観・新中1体験入学・中学生によるあいさつ運動等、地域の特性を生かした取り組みを展開している。 ☆取組内容が見えにくい。	※ICT活用が目的ではなく手段であることを、教員、児童共に強く意識し、健康面も配慮しながら、効果的な活用を図る。
6	教職員はPTA活動や地域の活動に積極的に協力し、地域の人材を活用した学習活動を積極的に行っている。	3.0	3.6	○地域の方にゲストティーチャーとして来ていただいたり、図書ボランティアで読み聞かせをしていただいている。 ○まち探検や農業の見学など、地域社会を実際に見て学ぶ活動をしている。 ☆今のところ、PTAとかかわりがないので、不明。	・児童が自分の体力の課題に向き合い、進んで参加する取組を検討したい。
7	学校は、学校の様子や成果を「学校だより」やホームページ等を活用し、積極的に情報提供している。	3.7	3.6	○情報提供に努めているがデジタルでの情報提供は十分できているが、どれだけ保護者に届き理解されているのかがつかみにくい。	・児童ひとりひとりに寄り添い、担任だけでなく学校全体で状況を把握・共有しながら支援につなげている点は安心につながる。アンケート等を活用して、いじめや不登校の未然防止に組織的に取り組んでいる点も評価できる。
8	学校は地域の人材を活用するなど、保護者と地域が連携した教育活動を推進している。	3.4	3.5	○様々な行事でPTAや地域からの助力をいただき、実行している。 ○人材の明確化と人材活用の場合や取り組みは、例年通りだと減少していくので、活用の工夫を考え、その機会を増やす必要も感じる。	※今後も早期発見・早期対応に努め、組織で取り組んでいく。
9	児童生徒は、落ち着いて学習に取り組み、学習内容を理解しようとしている。	3.1	3.5	○概ね落ち着いて学習に取り組むことができている。より主体的に児童が授業に臨めるよう、授業改善をしていきたい。	
10	教職員は学力向上を目指し、PDCAサイクルのもと、児童生徒の実態に基づいた授業改善に努めている。	3.3	3.6	○学力テストや単元テストの分析を行い、授業改善をしている。児童自身が単元テストを振り返り、次にはかそうしたり、自主的な学習として取り組もうとしたりできるよう指導している。個々の児童に最適な授業ができるよう算数科における校内研修の充実を図った。	
11	教職員は一人一台端末を積極的に活用し、ICT活用を推進している。	3.4	3.6	○それぞれの学年の発達段階に合わせて、教職員はクロームブックを学習ツール・連絡ツールなどとして効果的に利用している。市のICT支援員も積極的に活用している。 ☆まだ使い慣れないところもある。学校でのことは見ていないので不明。宿題については家庭の都合もあるので、夜も使えるようにしてもらいたい。	

12	学校は学習ルールを定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。	3.3	3.5	○学習中の姿勢・発言・机上の整理など環境の整備をはじめとして、学習の効果が上がるよう指導している。 ○算数科については校内研修を通して学習ルールを検討し、共通理解のもと実践できている。他教科はまだ共通理解の余地があるように感じる。	
13	児童生徒は、友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、正しい言葉づかいをしたりすることができる。	2.9	3.3	○明るく元気なあいさつを心がけている児童が多い。言葉遣いに関しては、全体的に改善が必要。強い言葉や傷つける言葉などが気になる。 ☆あまりハキハキしたあいさつをされた記憶はない。 ☆児童が積極的に来校者に挨拶をしていると思う。	・挨拶や言葉遣いについて、学校全体で取り組まれており、以前より良い方向に向かっていていると感じる。今後も児童が安心して過ごせる環境づくりがさらに進むことを期待する。
14	児童生徒は、学習のルールや生活のきまり・時間を守ることができる。	3.0	3.4	○児童の多くが学習のルールや生活のきまり・時間を守ることができた。ただ、定着するまでに時間がかかる児童もいるので、今後も声をかけていく。	※学校内だけでなく外でも自身の判断で正しい行動ができる児童を育成する。そのために、教育活動全体を通して道徳教育の推進を図るとともに、教員自らが模範となるよう努める。
15	児童生徒はいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って、学校生活を送っている。	3.2	3.4	○悪意はないものの、軽はずみな言動で相手を傷つけてしまうケースが見られる。より円滑な人間関係を築けるよう支援していく必要がある。 ○授業などで他の児童の発表や活動に対して拍手を送るなど、互いを認め合うことができる。 ☆表向きはよくても先生のいないところではよくない言動があると思う。	
16	教職員は自ら手本となるなど、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	3.5	3.5	○学校生活のルールを折に触れて話すなどして、規範意識を高めるよう指導をおこなっている。 ○全教師が共通理解し、共通行動をとりたい。 ☆教員の威圧的な言い方や言葉遣いがよくないと感じる。	
17	児童生徒は、体力向上に向けて、体育の授業や部活動または外遊びに意欲的に取り組んでいる。	3.7	3.7	○外遊びを奨励した。体育の時間には目当てを明確ににあたえ主体的・意欲的に体力の向上を図れるよう指導した。 ○スポーツタイムや業間マラソンなどの実施により、進んで外にでる姿が見られた。遊びタイムの縦割り活動も効果的に楽しみに外遊びをしていた。	・体力向上に向けて体育や外遊びの機会を確保し、子供たちが意欲的に体を動かせるよう工夫されている点はとてもよい。今後も家庭と連携しながら、子供たちの健康づくりが継続して進むことを期待する。
18	学校は、児童生徒の健康管理および食育に関する意識を高めようとしている。	3.2	3.5	○栄養指導や毎日の給食を学習の場として捉え、感謝の気持ちで食べ物を指導した。健康管理においては、家庭と協力し、「早寝早起き朝ご飯」に積極的に取り組むよう共通理解を図っている。 ☆家庭で時々給食の話をしてくれる。特徴的なメニューの時はうれしそう。	※児童が自分の体力の課題に向き合い、進んで参加する取組を検討したい。
19	学校は、児童生徒の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切に、児童生徒に寄り添った対応をしている。	3.7	3.5	○「心と体のアンケート」や「心音」など多様な方法で、子供たちの思いや願いをくみ取りながら、丁寧な対応を実践している。 ○児童数が少ない分、ひとりひとりの児童に寄り添って教育活動を行うよう努めている。	・児童ひとりひとりに寄り添い、担任だけでなく学校全体で状況を把握・共有しながら支援につなげている点は安心につながる。アンケート等を活用して、いじめや不登校の未然防止に組織的に取り組んでいる点も評価できる。
20	学校はいじめや不登校をなくすため、児童生徒への指導の充実を図っている。	3.7	3.4	○毎月情報共有の場を設け、いじめや不登校を担当任せにせず組織で対応している。 ○積極的に児童と話して、一人ひとりの持つ悩みや考えを知るよう努めている。	※今後も早期発見・早期対応に努め、組織で取り組んでいく。

2月分 下校時刻の変更について（お知らせ）

日	曜	変更を必要とする 行事名	変更後登下校時刻					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
6	金	委員会活動				14:30		
18	水	6年中学校授業体験 * 荒天時3/4に延期						15:30
19	木	5時間授業 授業参観・懇談会 (1・3・5年・特支)				14:30	14:30	14:30
20	金	5時間授業 授業参観・懇談会 (2・4・6年)				14:30	14:30	14:30
27	金	委員会活動				14:30		

1月の三輪野江小



新しいALT ロナー先生



スポーツタイム なわとび

寒さに負けず、がんばります。



お話ばけっと 昼休みの  
お話会

集中して書  
きました。



書初め競書会

